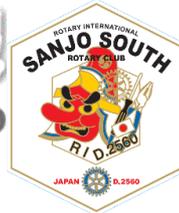




三条南ロータリークラブ週報

Sanjo Minami Rotary Club

2024-25 クラブテーマ **親睦から始めよう**



2024. 11. 25

外部卓話

No.2506 No. 16

会長挨拶

三条南ロータリークラブ
会長

永桶 俊一



10年以上前に私の自宅の道路を挟んだ家が朝9時半過ぎに火が出て全焼しました。私の家には影響はありませんでしたが、翌日消防が現場検証して、リビングのテレビのあたりの損傷が激しいため、火災の原因はトラッキング現象ということになりました。差しっぱなしのコンセントと電源プラグにたまったほこりに、そこに湿気が加わるとプラグの刃の間に火花放電が繰り返され、その熱がコンセントに接する絶縁部を加熱し、電源プラグの刃と刃の間にトラックと呼ばれる電気の道を作ります。そこから放電を起こして発火します。これがトラッキング現象です。当日お父さんお母さん子供3人共平日のため出かけており、専門学校に行っている子供が一番遅く9時近くに鍵をかけて出かけたとのことでしたが、出かけてすぐに火災になりました。これは他人事ではなく非常に怖いと思います。今はパソコン・テレビ・レコーダー・ゲーム機等コンセントにはタコ足配線でぐちゃぐちゃになっていることが多いので気をつけなければなりません。

自宅のとなりの火災の後、ある店舗で天井についているエアコンから火が出て店舗が半焼しました。当然私と電気屋が現地確認しましたが、その時原因は分かりませんでした。消防から火災の原因はエアコンに接続してあるケーブルを見せて、これはトラッキング現象だと判断されました。天井裏でトラッキングということはいつどこで火災が起きても不思議ではないということになるので、電気屋と私は原因を調査しました。火が出たエアコンの室外機を見たら黒く焦げており、その日の朝方の落雷で室外機に落ちて、室外機と室内機を結んでいる冷媒管・電線ケーブルが溶けていました。

開店の9時にエアコンスイッチを入れて、電気が入りケーブルが溶けているため、火災になったことを突き止めました。再度消防を呼んで、現場検証してもらい火災原因は落雷によるものと断定してもらいました。火が出るエアコンを設置した業者という烙印を押されなくてよかったということです。

トラッキングが原因の場合、その店のエアコン全て火災の恐れがあることになるということになるので、原因究明ができて本当に良かったと思います。電気火災は予期しない原因によって発生するので気をつけないといけませんと感じています。

◆本日の出席：38名中27名

◆先週までの通算出席率：88.21%

◆本日のゲストスピーカー：

三条市総務部行政課防災対策室主査谷間陵雲様

◆先週までのメイクアップ

▶11/18 親睦・プログラム委員会打ち合わせ

石山昌宏さん、加藤一芳さん、榎本剛彦さん、田村隆雄さん、田中康之幹事 ▶11/19 三条北 RC へ渡辺俊明さん、佐々木常行さん、坪井康紀さん、峰嶋由紀子さん

▶11/20 三条 RC へ江花正高さん

ニコニコボックス

11/25 20,000円 本年度累計 310,000円

永桶会長「11月も今週で終わりになり、年末まっくらです。皆様風邪が流行っておりますのでご自愛ください」

田中幹事「三条市総務部行政課防災対策室主査谷間陵雲様、本日はよろしくお願ひいたします」

石山さん「三条市行政課の谷間陵雲様、本日は卓話よろしくお願ひ申し上げます」

野崎さん「先日は叙勲に際して沢山の御祝を頂き大変ありがとうございました」

江花さん「先日は大変楽しい時間をありがとうございました」

関さん「先日土曜日、今年おそらく最後と思われるゴルフでした。雨と寒さで心が折れそうでしたが、なんとか100ちょうどで上がって来ました」

銅冶さん、田代さん、熊倉さん、加藤さん「BOXに協力します」

坂井さん「久しぶりのBOX担当です。このところインフルエンザが流行していますので気をつけてください。

BOXにご協力ありがとうございました」



国際ロータリー会長 ステファニー A.アーチック (米国)

第2560地区ガバナー 南雲 博文 (長岡)

第4分区分ガバナー補佐 杉山 幸英 (三条)

会長 永桶 俊一

幹事 田中 康之

SAA 塩入 栄助

事務局

〒955-8666 三条市旭町2-5-10

三条信用金庫本店内

TEL 0256-35-3477

FAX 0256-32-7095

E-mail info@sanjo-minami.jp

URL https://www.sanjo-minami.jp

本日の卓話

「豪雨災害と三条市の防災対策 ～災害に強いまちづくりを目指して～」

三条市総務部行政課
防災対策室

主査 谷間 陵雲 様



三条市を襲った水害

肥沃な土壌を育て、豊かに作物を实らせ、河川交易により文化や産業に繁栄をもたらしてきた「**五十嵐川**」

しかし、平成16年と23年の**2回の豪雨**によって、恵みの流れが濁流に変貌し、市民に災いがあった

平成16年 新潟・福島豪雨（7.13水害）

- 停滞した梅雨前線の影響で当時の**観測史上最大の**降雨量（累計雨量**491mm**）を観測
- 市内の中心部を流れる五十嵐川の堤防が決壊し、甚大な被害が発生

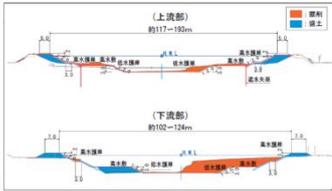
平成23年 新潟・福島豪雨（7.29水害）

- 平成16年と同様に停滞した梅雨前線の影響で豪雨となり、観測史上最大値の降雨量を更新（累計雨量**959mm**；**前回豪雨災害の約2倍**）
- 五十嵐川上流部での堤防決壊や山間地の土砂災害等により、広範囲にわたる被害が発生

7.13水害後のハード対策の内容



事業期間	平成16～22年度
築堤	V=約22万m ³
護岸	A=約16万m ²
河道掘削	V=約34万m ³
排水機場・樋門	N=6基
橋梁架替	N=3橋
用地取得	A=約5.9ha
事業費	325億円



300棟以上の家屋補償を伴った河道拡幅、改堤等により、河川の流下能力が大きく強化



平成16年水害後に**改修した区間**は、平成23年水害では**破堤しなかった**

7.29水害後のハード対策の内容



■事業計画諸元

事業期間	平成24年度～平成29年度
事業延長	31.926km
事業費	307.6億円
計画洪水流量	五十嵐川(1,800m ³ /s (一等橋梁地点) 鹿島川(230m ³ /s (五十嵐川合流点))
遊水池	貯水容量約180万m ³ 面積 約42ha
笠掘ダム嵩上げ	洪水調節容量 約180万m ³ を確保 4m嵩上げ 2m掘削計
計画川橋	五十嵐川(1,850m～300m) 鹿島川(約15m～25m)
計画河床勾配	五十嵐川(約1/160～1/180) 鹿島川(約1/460～1/700)

- <事業計画>
- ・河道改修
 - ・遊水池
 - ・笠掘ダム

河道改修(五十嵐川、鹿熊川)



五十嵐川遊水池



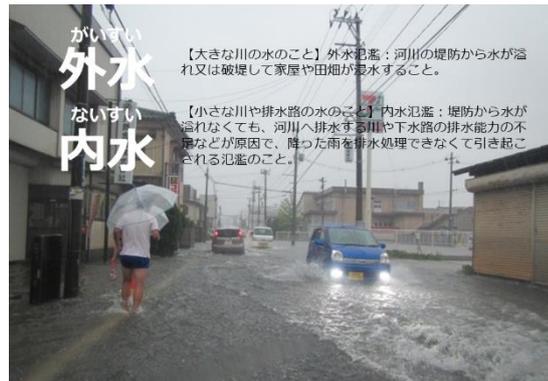
笠掘ダム嵩上げ



が
外水
ない
す
内水

【大きな川の水のこと】外水氾濫：河川の堤防から水が溢れれば破堤して家屋や田畑が浸水すること。

【小さな川や排水路の水のこと】内水氾濫：堤防から水が溢れなくても、河川へ排水する川や下水路の排水能力の不足などが原因で、降った雨を排水処理できなくて引き起こされる氾濫のこと。

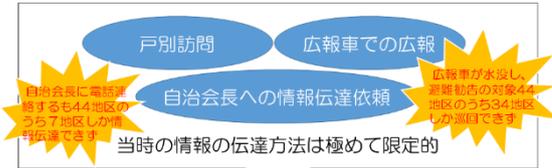


内水対策



1 情報伝達活動の多様化、迅速化

7.13豪雨災害時の避難情報の広報体制

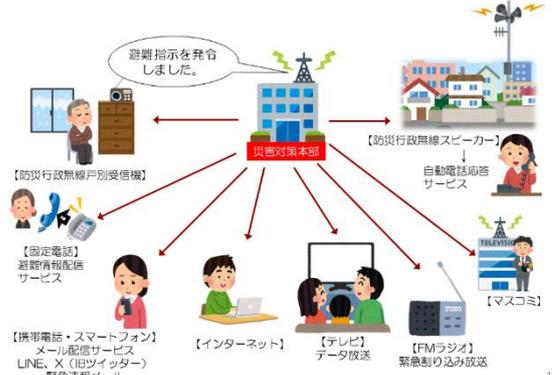


避難勧告を発令した地区で情報を受け取れた市民

21.9%

当時の体制では確実な情報伝達は困難

あらゆる媒体を利用した情報伝達体制を整備



市が発令した避難情報を得ることができた人の割合



避難情報を取得した媒体

媒体	7・13水害 (H16年調査)	7・29水害 (H23年調査)	割合 (%)	人数 (N)
防災無線(屋外スピーカー)	64.9	35.1		N=7,176
テレビ	22.8	77.2		N=7,176
広報車(市有車や消防車等)	19.2	80.8		N=7,176
ラジオ	17.0	83.0		N=7,176
携帯電話(安全・安心メール)	15.6	84.4		N=7,176
町内会員からの口伝え	11.5	88.5		N=7,176
防災無線(戸別受信機)	8.8	91.4		N=7,176
インターネット(パソコン等)	8.1	93.9		N=7,176
町内会員からの電話	4.8	95.2		N=7,176
市役所職員等の直接訪問		99.6		N=7,176
その他	7.7	92.3		N=7,176

避難情報を得た () 避難情報を得なかった ()

2 気象情報等の収集体制の強化

適切な災害対応の基盤となる気象情報等の収集体制を強化

①気象予報士の活用 (H28: 気象庁モデル事業) ⇒ 防災気象アドバイザー (H29~: 三条事業)

気象庁 → 気象予報士を派遣 → 三条市
市町村の防災対策を直接支援 (全国でも市町村モデル事業に採択)

主な業務

- 職員への防災気象情報に対する理解の促進
- マニュアル等の作成、改善支援
- 防災訓練等への協力
- 防災気象情報に対する要請の集約
- 避難情報の発令等に係るアドバイス ほか

②河川監視用防災カメラの設置

③情報収集担当の配置

【土木技術職OBの活用 (H29~)】

退職した土木技術職の職員を予備員として登録し、発災時に現場確認や建設業者との調整を担ってもらう。
(三条市災害対応マニュアル各章参照)

3 水害対応マニュアルの作成

7.13豪雨災害時の災害対応活動

それぞれの役割、とるべき行動がわからず
災害対応に大きな混乱が発生

災害時に職員、自治会、住民等がより的確な行動を行えるよう災害対応活動の基本的役割を明確化する「自助」「共助」「公助」それぞれにおける水害対応マニュアルを作成

公助

- 各班編
- 職員用・総括編
- 災害対策(警戒)支部編
- 避難所編

共助

- 自治会編
- 自主防災組織編
- 民生委員編
- 消防団編
- 水防監視員編

自助

- 市民編

【地域防災研修会】

- 全ての自治会長、自主防災組織代表者及び民生委員等災害対策委員を対象に毎年開催
- 共助に関する活動や災害対応マニュアルにおける役割分担について説明
- 研修会を通じて各地域を所管する災害対策支部長も参加し、顔の見える関係を構築

地域防災研修会の様子

4 災害時要援護者対策の強化

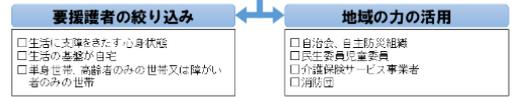
7.13豪雨災害での死者9人のうち7人が高齢者

災害時要援護者支援の取組が急務

要介護認定を受けているといった要援護者に関する「暫定基準」を定め、「災害時要援護者名簿」を作成した結果

対象者 4,842人 (H19.6)

様々な業務が重複する災害時において
市の職員だけで支援を行うことは明らかに不可能



真に支援が必要な方を地域の力を活かして守る

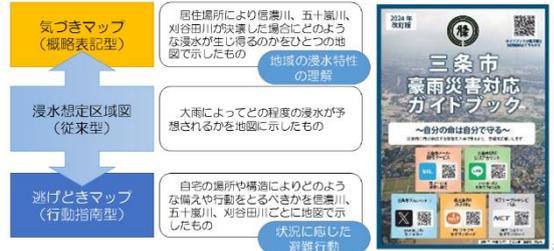
5 豪雨災害対応ガイドブックの作成

災害が起こっても「人は逃げない」

自然に迫る危険を速やかに評価して心の平穏を保とうとする強い働き「正常性バイアス」

より適切な「自助」を促す新たなハザードマップを作成

今までのハザードマップにはなかった「垂直避難」の考え方を取り入れた上で、居住場所や建物の構造によりそれぞれ異なる避難行動の指針を提示



6 災害支援物資対応マニュアルの作成等

迅速な物資配送体制の構築

7.13水害時

物流に関するノウハウがない

○物資集積拠点を市役所庁舎隣に設置

周辺道路が大混雑し、物資集積に支障

○市職員による直接配送・直営管理

昼夜問わず往来するトラックからの荷下ろしや避難所への物資配送で職員が疲弊

物資配置レイアウト、荷役機器など在庫管理に必要な知識・備品がなく非効率

○善意により送られてくる混載物資

水、食料、衣類など混載で送られてくる物資の仕分け作業のために他業務を圧迫

7 防災文化の創造

特に構えることなく、ごく自然に災害への備えが日々の生活に浸透している「防災文化」の創造を目指す

そのために必要なことは…

平時から災害に対する備えを怠らぬこと

行政の責務として緩むことなく備えの意識を持ち続けるとともに、常日頃から市民にうたえ続けること

備えあれば憂いなし

市民一人一人の自助の意識を育てていくこと

大災害の経験から学んだ教訓を後世に脈々と伝え、それが地域の文化となり、当たり前なこととして住民の心に広く備わっていくこと

真の意味での「風化」

防災教育の推進

防災教育授業

洪水に関する知識や対応、地域の自然とのかかわり方を学び、「生き抜く力」を養う
全小中学校・全学年で実施

防災キャンプ、小中学校合同避難訓練等の実施

自ら危険を回避できるよう必要な技術や知識を学習し「生き抜く力と姿勢」を養育

防災訓練における中学生ボランティアの取組

次世代担い手の防災意識や知見を高めるとともに、地域の方々の防災意識も相乗的に高める

災害所屬校中

電源装置（地区補助金利用事業）

3庁舎で活用されています

10月7日に寄贈した3台のポータブル電源装置は、三条・栄・下田3庁舎の市民課窓口を設置し普段から供用されています。

普段から市民が実際にスマホ充電に利用でき、災害時でも円滑に利用できるようになること、非常時の備えへの関心を高めることに役立っています。

添えてある表示には下記のように記載されています。

「スマートホンなどの充電にどうぞお使いください。

充電している間に、災害時の備えについて確認していませんか？

このポータブル電源は、三条南ロータリークラブ様から寄贈いただいたもので、災害時に停電しても1台でスマホ50台分をフル充電できる容量を備えており、様々な家電にも使うことができます。

災害時だけでなく、普段から市民の皆様に触れていたいため、三条、栄、下田の各庁舎に設置しました。」



(三条庁舎市民課)

12月のお祝い

◆ 会員誕生

吉沢栄一さん
藤田寛嗣さん
大原知弘さん
大溪秀夫さん



◆ 配偶者誕生

江花正高さんご夫人
坂井範夫さんご夫人
渡辺俊明さんご夫人

おめでとうございます

今後の予定

12/ 9(月)通常例会「財団月間」
12/16(月)通常例会「新会員卓話」江花正高さん
12/23(月)夜例会「忘年家族会」於：VIP
ご家族でご参加ください

12/30(月)休会

2025年

1/6(月)休会

1/13(月)成人の日 休会

1/20(月)通常例会「新春例会」

1/27(月)通常例会「外部卓話」

2/3(月)夜例会「新年会」於：松木屋



ロータリーの目的

ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある。具体的には、次の各項を奨励することにある：

第1 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること；

第2 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること；

第3 ロータリアン一人一人が、個人としてまた事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を実践すること；

第4 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること